

マーケットの動き (2020年12月21日～12月25日)

先週の国内債券市場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。

週の前半は、新型コロナウイルスの変異種の大拡大懸念によるリスク回避モードを受けて買いが集まりました。週の後半は、英国とEU（欧州連合）の通商協定合意を受けてリスク選好ムードとなり売りが優勢となりましたが、年末を控え小動きとなりました。

クレジット市場は、引き続き堅調に推移しました。

投資環境見通し (2020年12月)

長期金利は狭いレンジ内で推移

当面の海外長期金利は財政・金融政策が材料視されやすい一方、国内長期金利は副作用に対する懸念から日銀がマイナス金利の深掘りを見送り、イールドカーブ・コントロールを継続するとみられることから残存10年以下の金利は引き続き狭いレンジ内の動きにとどまるとみています。また超長期国債についても、増発分は日銀による無制限買入で相殺されるとみられ、日本経済の回復ペースの遅れを反映し金利上昇圧力は限定的と予想しています。

	12月25日	変動幅 (騰落率)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り (日本、%) (変動幅)	0.01	▲0.00	▲0.01	▲0.01	0.02
NOMURA-BPI総合 (騰落率)	387.40	▲0.09%	▲0.01%	0.07%	▲0.56%

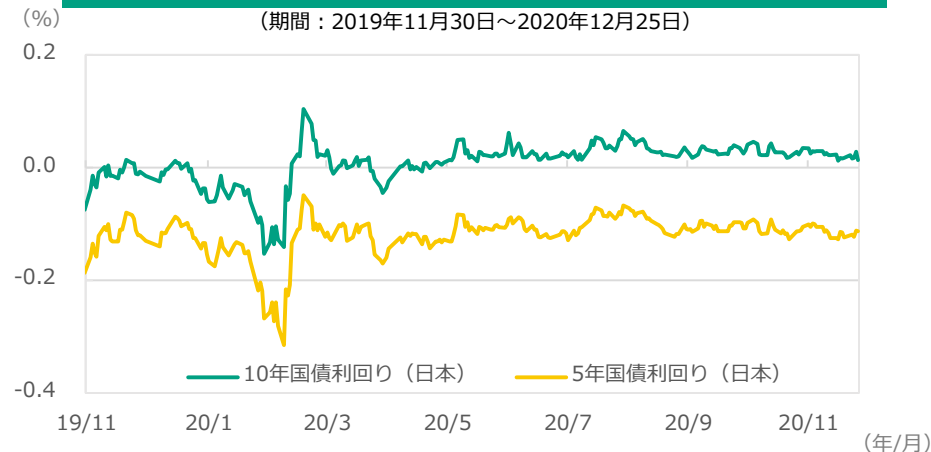
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202012_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



野村BPI総合指数の推移

